

県医労新聞

2012年6月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行1863号(月刊78号)



いのち・絆・まもろう 岩手県ナースウェーブ集会〔5月12日 盛岡市〕

目次

- 1 P 第83回メーデー
- 2 P 原発問題学習のページ
大東病院意見交換会
- 3 P 国民平和大行進
5.3憲法記念日のつどい
桂文我落語会
- 4 P 看護部会ニュース
- 5 P 女性部ニュース
青年部ニュース
- 6 P つぶやき、とんがらし
4月号パズル当選者
- 7 P 職場川柳 懸賞パズル
6・7月の予定



岩手県中央メーデーに参加した中央支部のみなさん

第 8 3 回 メーデー

住民本位の震災復興を

晴天の中 県内10ヶ所で開催

大震災から一年。働く者の団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそうと第83回メーデー岩手県集会が、岩手各地10ヶ所で開催されました。お天気にも恵まれた今年のメーデーは、震災復興をスローガンに掲げ、被災地でも取り組まれました。

胆江



胆沢支部2名、江刺支部4名参加
写真は両支部合同

釜石



開催も危ぶまれたメーデー
釜石支部から13名参加 桜がきれいです

久慈



久慈支部8名参加 恒例の私の一言コンテスト
「クールビズ？家計も政治も寒いです」1票!!

県中央



「原発なくせ」「増やせ看護師」をアピール。
中央支部・本部・遠野支部で29名参加。終了後は、桜舞う岩手公園でお花見を



全身で訴える
中野委員長

宮古



被災地でもデモ行進!!
宮古支部3名参加

二戸



勤務終了後、二戸支部10名、
一戸支部7名参加

気仙



仕事を終わってから大船渡支部3名参加
夜デモしました

両磐



集会後はデモ行進でアピール
磐井支部2名、南光支部5名、
千厩支部1名参加

北上



中部支部は、午後から3名参加 終了後デモ行進

原水爆禁止岩手県協議会・津村事務局長に聞く

「原子力発電の真実」



原爆投下のヒロシマ・ナガサキの悲劇を繰り返してはならないと、毎月の6・9行動（街頭での署名宣伝）や6月の「国民平和大行進」、8月の原水爆禁止世界大会の岩手県代表者派遣など、地道な活動を長年続けられている原水協津村事務局長から、原発問題についてお話を伺いました。

◇ ◇

Q 投下された原子爆弾と原発は、そもそもどのような違うのですか？

原子力発電と核兵器はともに、原子核分裂・融合によって生じる巨大なエネルギーを利用するという点において、共通です。1930年代に人間は核エネルギーを発見し、最初の実用化が核兵器だったのです。アメリカがつくった原爆は2種類。まずはウラン型をヒロシマに落とし、次にプルトニウム型を長崎に

落としたのです。しかし、爆発という方法では経済的に利用できないことから、核燃料を燃やして、経済的なエネルギーとして使いたいということになりました。アメリカの海軍が、潜水艦の動力として使えるよう原子炉を開発し、民間に転用しはじめた。これが今の原子力発電に、そのまま残されているのです。日本は世界で唯一の被爆国ですが、米・仏に次ぐ世界第3位の原発大国になるまでの歩みは、米戦略と密接に関わっているんです。

Q 原発はどのように広まったのですか？

日本の原子力開発は、1950年代から始まりました。最初の段階から、アメリカから濃縮ウランと原子炉の提供を受けアメリカのエネルギー政策に従属する形で、原発増設の道を突

き進んできました。いまでも日本の原発での使われている濃縮ウランの73%は、アメリカから、輸入しています。更に日本では、推進する勢力が「安全神話」をばびこらせてきたと言えます。1基五〇〇億円とも言われるビックビジネスに群がる財界や政界、官僚、御用学者、一部メディアの

存在が大きいのではないのでしょうか。

Q 使用済み核燃料の現状はどうなっていますか？

原発の運転を続ける限り、最終的に高レベル放射性廃棄物が発生し累積していきます。現状は、青森県六ヶ所村の貯蔵プールはすでに満杯で、各原発施設内の貯蔵量も約あと数年で満杯というところが次々出ています。しかも最終処分場の目途は全く立っていません。

Q 今後、自然エネルギーへの転換は、可能ですか？

もちろん可能です。5月5日、全国54基がすべて止まりましたが、私たちは電気を生活に使っています。それは、どういうことなのか、自然エネルギーについて一人一人がよくつかみ、声をあげていくことが大事です。

◇ ◇

国民平和大行進、原水爆禁止世界大会への代表派遣など平和の取り組みと同じように、「原発ゼロ」をめざして私たち自身が声をあげていくことが大事なんです。ありがとうございます。

大東病院を元にもどして 県立大東病院意見交換会

県・医療局は5月15日夜、大東町大原地区で、「大東病院の今後のあり方についての意見交換会」を行いました。

「早く大東病院を元に戻してほしい」「リハビリ機能は必要」「有識者会議の結果ありきで進めている」など、住民から次々と意見がでました。

県・医療局は復旧に向けた具体案は示さず、再度住民との意見交換会を設け、2012年度前半を目途に病院の規模・機能について方向性を出す考えを示しました。



意見交換会に参加した約180名の住民



平和行進に参加する盛岡大学の学生(2011年)

被爆地・広島へ一歩ずつ 平和の思いをアピールしよう

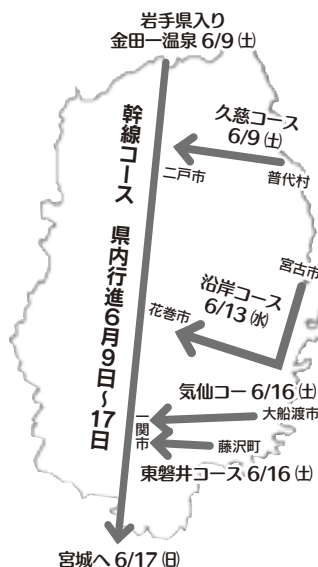
6月9日から17日、県内平和行進通過

今年も平和行進が被爆地、広島に向けて5月6日、

北海道を出発しました。「署名行動はちよつと」「学習会なんてめんどくさい」という組合員でも、歩くことで平和への思いがアピールできる、それが国民平和大行進です。

老いも若きも、子連れでも参加しています。ここ数年は、県立

大学の学生も参加し、沿道から大きな拍手を受けています。



6月9日に二戸市金田一で青森県から引き継ぎ、沿岸からの支線コースを含め、17日に宮城県にバトンタッチです。誘い合って、楽しく行進に参加しましょう。

憲法を宝に運動していこう 被災地では「人間の復興」が大切

憲法記念日のつどい開催(5月3日)

憲法記念日(5月3日)に毎年開催されている「憲法記念日のつどい」は、盛岡市プラザおでつてホールで行われ、91人が参加しま

した。今年、福島原発の地元、福島大学の前学長・今野順夫氏を講師に、「日本国憲法の視点から復旧・復興を

盛岡労連・平和のつどい

盛岡で落語、収益金で宮古では無料

5月18日、盛岡地域労連では、5年ぶりに平和のつどいとして、落語家の桂文我独演会を開催。開演前会場の盛岡劇場には外まで延びる行列ができました。今回の企画は、楽しいだけでなく、盛岡開催の収益金で、宮古での被災地支援・無料開催がセツトというもの。桂文我さんは東京での被災時の様子をユーモアあふれる話芸で紹介、古典落語を披露し、会場は笑いでいっぱいになりました。



福島大学前学長 今野順夫氏

考える」と題して、福島などの実態を交えながら、「人間の復興が必要だ」、そのために「住民の参加が大事である」と指摘されました。会場からは、放射能汚染をどう考えるか、市町村合併の影響などの質問が出され、丁寧な回答がありました。最後に「憲法を宝として民主運動をすすめていこう」とのアピールを採択し

やりがいのある看護がしたい 笑顔と白衣でアピール行進

岩手県ナースウェーブ集会



医師・看護師を増やして安全・安心の医療・看護を実現する社会的なアピールの場として開催された2012年の岩手県ナースウェーブ集会は、「いのち・絆・守ろう岩手」をスローガンに5月12日盛岡市の産業会館（サンビル）で行われました。岩手県内の病院で働く160名の看護師等が参加しました。

集会の前には、岩手医労連看護対策委員20人が「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護の実現を」と訴えて、亀ヶ池と野村證券前の2カ所で国会請願署名を行いました。肌寒い5

月のこの日、白衣の参加者は寒さに震えながらも151筆を集めました。

オープニングコンサートは、岩手医大の職員で結成するバンド「AGふれんず」が、70年代のフォークソングを歌いました。

主催者挨拶では、看護対策委員長の吉田裕美子さん（岩手医大教職組）が看護師の置かれている現状について延べ、厚労省5局長通知を力に改善を勝ち取っていかうと訴えました。

記念講演は日本医労連前副委員長であり、温泉愛好家として新聞などに連載を

している桂木誠志さんが、「心と体のリフレッシュ、ゆったり湯めぐり」と題して講演。桂木さんは講演の中で、「忙しい時こそ友達と温泉へいってストレスを解消して」「いのち・絆・暮らしは趣味で深くなる」ことを訴えました。

集会終了後、参加者は「医師・看護師を増やせ」などのシュプレヒコールを響かせて、白衣で元気に盛岡市内をデモ行進しました。県



高田支部の大浦宏子さんのレポートを代読する中央支部の内藤鈴子さん

「あの日は…そして今の高田病院は…」

中央支部の内藤鈴子さんは、高田支部の大浦宏子さんのレポートを代読しました。東日本震災時、必死で職場に駆けつけようとしたものの、津波に追いかかれ、再び避難所で職員に会えた時の様子を報告者の内藤さんも感情を抑えられず、会場の参加者も息を詰めるように聞き入っていました。



元氣よく
白衣のアピール行進

医労からの参加者は28名でした。

原発をなくそう!

いわて労連女性部が署名行動



大通商店街で
署名する親子

母の日の5月13日。歩行者天国で賑わう盛岡市大通り商店街で、「原発なくせ! 宣伝行動」が行われました。いわて労連女性部が呼びかけたこの宣伝行動には、4

団体8名(県医労から2名)と子どもさんが3名参加。お母さんの側でポケットティッシュを配るなど、署名行動のお手伝いをしました。

東日本大震災から1年が経過しましたが、福島原発事故は収束しておらず、事態はまだ明らかにされていません。原発事故は、広範囲にわたる放射能汚染を引き起こし、県内でも被害が相次いでいます。

今回のような事故と放射能汚染を二度とおこさないためにも、原発からすみやかに撤退すること、そして自然エネルギーに転換することを訴えて、署名行動を行いました。この日は約1時間で82筆の署名が集まりました。

第58回岩手県母親大会in一関

第58回日本母親大会in新潟

■とき 7月29日(日) ■ところ 一関文化センター

■とき 8月25日(土)～26日(日) ■ところ 新潟・朱鷺メッセ



一関大会シンボル
たまなちゃん

県医労青年部第55回定期大会

■日程 7月14日(土)～15日(日)
(13:30 受付(予定) 朝解散)

■会場 盛岡市・つなぎ温泉 ホテル 紫苑

この1年間の活動方針を決定する大事な会議です。大会成功に向けて、今から代議員・オブザーバーの確保をお願いします。



◇詳細については支部宛の大会公示・要請文書をご覧ください

つばき

長年愛用していた二層式の洗濯機がついに壊れてしまい、全自動式を購入しました。とても便利なのに、それにまだなれない私は、本当に動いているのか心配で離れられません。

中央支部 つくしんぼ

G・W中、熱を出して寝込んでいた私の所に来て、「かあちゃん、ねんね?」と心配そうな顔をする1才半の娘。小さいながらもわかってるんですね。

大東支部 かあちゃん



新年度を迎えられた。この一年を大切にしておいていこう。

宮古支部 宮古の町を

新年度になり、新スタッフも加わり、新たな気持ちでスタートしました。まだ、ぎこちない関係ですが、お花見などでグリーンと親しくなれたらいいなと思っています。

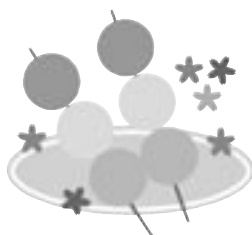
中央支部

サッカー大好き人間

4月号パズル 当選者発表

4月号パズル「まちがいは7つ」には20名の応募があり、全員正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■4月号当選者(敬称略)
さくら(二戸支部)、もこもこ、いちろうの母、じゃがいもの花(中央支部)、ボーディサットバ(中部支部)、いそがしまマ(磐井支部)、メダカ、まぐろ(南光支部)、桜咲く(大東支部)、ゆゆパパ(大船渡支部)



今年もきれいな桜の花が咲きましたね。あつという間に散ってしまいました。が、散った後は、「花より団子」で団子をおいしくいただきました。

南光支部 よつちママ

とんがらし

桜の花も過ぎ、新緑へ向かう。しかし桜の花同様、就職できない子ども達の心の花も散っているかもしれない▼4月26日、日高教は2012年3月に卒業した高校生の就職内定状況(卒業時調査)をまとめ、発表した。それによると就職内定率は前年度調査から1.7ポイント上昇したが、卒業までの間に、就職希望を「あきらめる」生徒が相当数に上ることにより、結果として、数字上は高い内定率となっている。求人状況の厳しさや男女間・地域間の大きな格差など、「厳しい就職難」という状況は変わっていない。これは、大学も同じ状況で、大学卒業した後、3割は仕事に就けない状況という。大学の就職内定率も怪しいものだ。この原因の元は、グローバル経済による内需の冷え込みで仕事

がないという事につきる▼ILOは4月29日、近い将来労働市場が回復する兆しが見られないとして、世界が「新たな雇用危機に突入しつつある」と警告するレポートを出した。それによると2008年以前の欧州危機と比べて、世界で5千万人分の仕事不足している。先進国の大半で若者の失業率、貧困率、非正規雇用が増加している。日本においては福祉分野の公共支出の削減が、東日本震災後の雇用状況をいっそう悪化させる可能性がある」と指摘した。私達が主張している「医療・社会保障予算の増額」は、日本の雇用危機の一つの解決策にもなり得る▼国民大運動岩手県実行委員会では、自治体要請キャラバンを5月21日から行っている。被災地での雇用確保は、まして深刻な問題だ。被災者の生活に大きな打撃を与える消費税増税なしの、社会保障制度の改善こそ必要だ。自信を持って訴えよう。

(K)



おこしやす
京都!

医療研究全国集会in京都

1日目 6/15(金) 全体集会

記念講演 14:30 ~



社会保障と税の一体改革でどうなる、
日本の医療・介護・社会保障

一橋大学名誉教授 渡辺 治 先生

2日目

6/16(土)

分科会

9:00 ~ 16:00

3日目 6/17(日) 全体集会

記念講演 9:30 ~



震災、いのち、つながり(絆)

映画作家 河瀬直美 さん

職場川柳

- ◇人増えた(はず) 産休・病休 あれ?足りない
- ◇スカイツリー 地デジ支える 電波塔
(世界に誇る日本の技術者たち)
- ◇東電の 儲け9割 家庭から
(怒り心頭の東京都民)
- ◇消費税 命運握る 某一郎
- ◇親子寄席 笑いで楽しい ボランティア
(みんなの気持ち)

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送り先は〒020-00023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は6月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ



まちがい7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!

6月の予定

- 1日(金) ~ 3日(日) 日本医労連2012年平和ツアー(沖縄)
- 2日(土) ~ 3日(日) 日本医労連東北地方協女性交流集会(青森)
- 7日(木) 県医労高田支部主催の三遊亭京楽寄席
- 8日(金) ~ 9日(土) 岩手医労連被災地支援ボランティア
- 9日(土) ~ 17日(日) 国民平和行進
- 15日(金) ~ 17日(日) 日本医労連第39回医療研究全国集会(京都)
- 22日(金) ~ 23日(土) 県医労第68回定期大会(花巻温泉「千秋閣」)
- 23日(土) 6.23国民大集会(明治公園、予定)
- 23日(土) ~ 24日(日) 日本医労連第34回保育所会議(熱海)

7月の予定

- 1日(日) 消費税ストップ県民集会(仮)(教育会館)
- 6日(金) ~ 7日(土) 県医労女性部第55回定期大会(志戸平)
- 14日(土) ~ 15日(日) 県医労青年部第55回定期大会(紫苑)
- 20日(金) 支部長会議
- 21日(土) ~ 22日(日) 岩手医労連第38回医療研究集会(千秋閣)
- 29日(日) 第58回岩手県母親大会in一関

